

建通新聞

中部

中部地整 ASP情報共有システム 利用促進を 決裁ワーク フロー

国土交通省中部地方整備局が、アプリケーションサービスプロバイダ(ASP)を紹介した情報共有システムの利用状況について調査したところ、使用している機能の過半数をスケジュール管理が占める一方、決裁ワークフローなどの使用が

少ないことが分かった。中部地整は引き続き、ワークフローや掲示板、発議書類作成、書類管理などの機能の積極的な活用を呼び掛けていく。

情報共有システムは、ネットワークを介して発注者と受注者がスケジュールや工事関係書類を共有したり、電子納品に必要データを蓄積する仕組み。工事受注者が着工までにサービス提供者と契約する。中部地整は13年度、原則として全ての工事で同システムの試行活用を開始した。

今回の調査は、ASPの各機能の8月末時点で

の使用状況をまとめたもの。

スケジュール管理が使用機能の58%を占める一方、打ち合わせ簿が16%、掲示板が9%、共通文書が7%にとどまった。中部地整は、同システムの必須機能と位置付けている決裁ワークフロー機能の有効活用を促すとした。

また、4月から同システムを全面試行しているが、▽災害復旧などの緊急性がある▽工期が短い▽通信環境が確保できない場合などについては、適用を除外できるようにした。

【建設ICT】

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 日経 | 2. 朝日 | 3. 毎日 |
| 4. 読売 | 5. 岐阜 | 6. 中日 |
| 7. 産経 | 8. 静岡 | 9. 伊勢 |
| 10. 中部経済 | ⑪ 建通 | 12. 日刊工業 |
| 13. 建設通信 | 14. 信濃毎日 | 15. 日本海 |
| 16. 建設工業 | | |

平成26年 | 月 8日 (朝) ・ 夕) P |